哀愁のラフマニノフ 3大名曲選!!

熱狂コンチェルト 2022

【ピアノ】
角野隼斗
（かてぃん）

【ピアノ】
上原彩子

【ピアノ】
関本昌平

ラフマニノフ

パガニーニの主題による狂詩曲 op.43（角野隼斗）

ピアノ協奏曲 第3番 ニ短調 op.30（関本昌平）

ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18（上原彩子）

順不同

【指 揮】三ツ橋敬子　【管弦楽】日本センチュリー交響楽団

2022 2.13（日） 14:00開演（13:00開場）

S 7,200円 A 6,200円 B 5,200円（全席指定／税込） 主催：ザ・シンフォニーホール

ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ
■ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333（火曜定休） https://www.symphonyhall.jp

プレイガイド
■e+（イープラス） https://eplus.jp/symphonyhall（パソコン・携帯）
■ローソンチケット https://l-tike.com/symphonyhall［Lコード:51961］
■チケットぴあ 0570-02-9999 https://w.pia.jp/t/symphonyhall/［Pコード:197-395］

*未就学児のご入場は御遠慮いただいております。
*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

The Symphony Hall 40th anniversary Since 1982

哀愁のラフマニノフ 3大名曲選!!

熱狂コンチェルト 2022

好評のザ・シンフォニーホールのシリーズ「熱狂コンチェルト」。2022年2月の「哀愁のラフマニノフ　3大名曲選」は、20世紀前半に欧米で一世を風靡したヴィルトゥオーソ・ピアニスト、ラフマニノフのピアノ協奏曲を存分に満喫できるプログラム。ソリストは、YouTubeでも活躍する「かてぃん」こと角野隼斗、チャイコフスキーコンクール覇者でロシア音楽をこよなく愛する上原彩子、そしてショパンコンクール入賞者で彼の《ピアノ協奏曲第3番》を得意とする関本昌平だ。共演は、気鋭の指揮者、三ツ橋敬子とアンサンブル能力の高さに定評のある日本センチュリー交響楽団。

ロシアの大地を思わせる重厚な和音、華やかなで迫力あふれるサウンド、濃密なリリシズム、そしてラフマニノフ作品ならではの華麗なピアニズムを心ゆくまで堪能していただきたい。

文　道下京子

[指揮] 三ツ橋敬子 *Keiko Mitsuhashi*

東京藝術大学及び同大学院を修了。ウィーン国立音楽大学とキジアーナ音楽院に留学。第10回アントニオ・ペドロッティ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。第9回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールで女性初の受賞者として準優勝。併せて聴衆賞も獲得。第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2021年4月、コロナ禍においてNHK交響楽団デビューを飾り、その堅実な解釈力と手腕に対し各方面より称賛を得た。

[ピアノ] 角野隼斗 *Hayato Sumino*

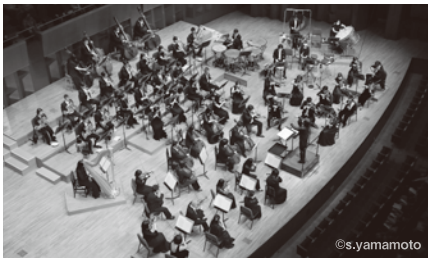
1995年生まれ。2018年、東京大学大学院在学中にピティナピアノコンペティション特級グランプリ受賞。これをきっかけに、本格的に音楽活動を始める。2019年、リヨン国際ピアノコンクール第3位など、受賞多数。これまでに国立ブラショフ・フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団等と共演。2020年12月に1stアルバム「HAYATOSM」をリリース。オリコンデイリー8位を獲得。クラシックで培った技術とアレンジ、即興技術を融合した独自のスタイルが話題を集め、"Cateen(かてぃん)"名義で活動するYouTubeチャンネルは登録者数は80万人超、総再生回数が8,500万回（2021年8月現在）を突破するなど、新時代のピアニストとして注目を集めている。

[ピアノ] 関本昌平 *Syouhei Sekimoto*

2005年ショパン国際ピアノコンクール第4位入賞。パリ・エコール・ノルマル音楽院卒業。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースを経て渡米。ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリおよび第1回福田靖子賞受賞。第5回浜松国際ピアノコンクール第4位、第5回モロッコ国際音楽コンクール優勝。ヴェルビエ音楽祭アカデミーコンサート（スイス）、アニマート音楽祭（パリ）、NYカーネギーホールでのコンサート等に出演。CD「ショパン」「ブラームス」をリリース。これまでに、稲垣千賀子、M.ヴォスクレセンスキー、二宮裕子の各氏に師事。現在、名古屋音楽大学特任准教授、愛知県立明和高等学校及び名古屋市立菊里高等学校非常勤講師。

[ピアノ] 上原彩子 *Ayako Uehara*

第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた日本人として史上初めての第一位を獲得。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。これまでにヤノフスキ、ノセダ、ルイジ、ラザレフ、小澤征爾、小林研一郎、飯森範親各氏等の指揮のもと、国内外のオーケストラとの共演も多く、2004年にはデュトワ指揮NHK交響楽団と共演、2004年度ベスト・ソリストに選ばれ、2017年にはベルリン及び日本国内4都市において、エリアフ・インバル指揮ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団と共演、高い評価を受けた。東京藝術大学音楽学部 早期教育リサーチセンター准教授。



[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団 *Japan Century Symphony Orchestra*

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在は50名のメンバーが在籍。飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」をはじめ教育プログラムや地域連携事業にも力を入れている。

オフィシャル・ホームページ　https://www.century-orchestra.jp/